

【環境情報学府の学生・教職員の皆さんへ】

東北地方太平洋沖地震等に関連したボランティア活動について

(研究院長・学府長 2011年4月4日(月))

東北地方太平洋沖地震等の被災状況に接し、皆さんの中には何か自分にできることをしたいと思っている方が多いとお察しします。こうした皆さんの思いはたいへん貴重です。

しかしながら、現地の被災状況に十分配慮しない性急な行動は、純粋な意図と反し、かえって現地の救援・復興活動に負担をかけることになってしまいます。皆さんがボランティア活動を考える際には、まず現地の状況を的確に把握した上で(参照1)、自身が居住する地域のボランティアセンターなどの信頼できる機関(参照2)と十分に相談をした上で、そのアドバイスに従って、慎重な計画と判断をしていただくことを、切にお願いします。

その上で、実際にボランティア活動に参加される場合は、必ず、適切な保険に加入するとともに、学生の方は責任指導教員と学府の大学院環境情報学府係に、教職員の方は環境情報総務・会計担当に届け出るようお願いいたします。

(参照1)

全国社会福祉協議会 <http://www.shakyo.or.jp/saigai/touhokuzisin.html>

日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp/volunteer/index.html>

(参照2)

横浜ボランティアセンター <http://www.yokohamashakyo.jp/yvc/top.html>

追伸

本学府では、被災地に対して、現時点でどのようなボランティア活動が可能か、独自に調査しているところです。情報が明らかになり次第、適宜HP等でお知らせします。